

## With 女性リーダーセミナー

### 各々の立場で行動へ

### ～活動の活性化に向けて～



JAM中央女性協議会（With）は、JAMの女性活動を地方・単組で活性化させるための「仕組みと方法」を考えることを中長期のテーマとした「女性リーダーセミナー」を全国から13地方25単組26人の参加で、2017年5月19日から20日の2日間、千葉県で開いた。女性協議会の役割を再認識し、各々の立場で行動に繋げるべくグループ討議を行った。

#### 視野を広げて色々な課題を見る

まず、最初に職場の課題を共有した後、林典子With副議長より、グローバルな視点や日本政府、連合、JCMなど視野を広げようと提起した。参加者は現時点で労働組合に女性がどれだけ参画できているか女性役員や女性委員会の有無など単組の状況を説明しあうことで他単組との違いなどを「気づく」機会となった。



他単組との情報交換から「気づき」を得た参加者

#### Withがやるべきこと

その後のグループ討論ではWithがやるべきこととして、①JAM女性活動ハンドブックを活用し、女性組合員に気づきを与える、②女性組合員にアンケートを実施し、単組に報告、政策制度要求につなげる、③地方JAM男女共同参画委員会に対し、With幹事の選出単組の拡大を要請する、この3つのやるべきこと再認識した。

#### Withと男女共同参画委員会の連携を図る

地方With活動で困っていることとしては①セミナー等への参加者が集まらない、②参加単組の固定化、③With幹事を続けたい人が続けられない、④「女性」と名が付くことはすべてWithにふられるなど課

題を明確にした。

その上で地方JAM男女共同参画委員会に①Withとの意見交換会の実施、②With幹事選出時の単組へオルグ強化、③各単組への女性参画促進と環境整備、④男女平等参画アクションプランの検証へのWithの参画などの要望をまとめた。

参加者は各地方に持ち帰り、お互いの役割をきちんと認識し、意見交換会の実施などを要望しながら、各地方JAMの男女共同参画委員会との連携を強めることを確認した。



女性が組合活動に参画しやすい環境の整備に取り組んでほしいという意見があった



得た知識を持ち帰り、リーダーとして展開することを確認